

2020年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		若い世代の県内定着に向けた学生の確保と産学官連携による県内就職の促進		実施組織	第1ワーキンググループ		
取組内容		KPI	2020年度計画内容	2020年度実施内容			
<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力をも共同発信</p> <p>②近隣県を対象とした学生募集の共同実施</p> <p>③県内高校生への進学情報（オープンキャンパス情報）の一元発信</p> <p>④県内大学への進学状況を分析し高大接続対策へ活用（データ分析、検討会の開催）</p> <p>⑤高校生への共同模擬講義・実習の実施</p>		<p>a.</p> <p>①年10回</p> <p>②年1回</p> <p>③年1回</p> <p>④年1回</p> <p>⑤年1回</p>	<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①内容・方法の確定と予算の準備</p> <p>②共同実施の内容・方法の検討</p> <p>③内容・方法の確定と予算の準備</p> <p>④データを分析し、その結果を基に高大接続プラン（取組）の検討</p> <p>⑤共同模擬授業の企画立案</p>	<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①県立総合大学校本部による、キャンパスリポーター事業を、6高等教育機関が交替で月1回担当し、徳島新聞紙面に掲載【12回】。小松島高校において、四国大学・四国大学短期大学部、徳島文理大学・徳島文理短期大学部による合同進学説明会を実施【1回】。鳴門教育大学が受験産業企業主催の進学相談会（徳島市）に参加し、県内高校生等に魅力アピール【3回】。</p> <p>②県立総合大学校本部が、徳島進学ガイド作成、淡路島南部の家庭(29,100部)及び香川県東部地区の高等学校（4,358部）へ配布【1回】</p> <p>③徳島大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、鳴門教育大学が徳島進学応援ガイド作成、県内向け配布【1回】</p> <p>④徳島県教育委員会が作成している教育調査報告書をもとに、WG内でデータを分析</p> <p>⑤徳島大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、鳴門教育大学では、高校生対象の出前、公開授業等を実施。共同模擬授業の企画立案について、WG内で検討。共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」については、新型コロナウイルス感染防止のため、大学生のみを対象としたオンライン開講となった</p>			
<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期の課題解決型インターンシップの拡大</p> <p>②産学官が共同企画した新たなインターンシッププログラムの実施</p> <p>③県内産業の魅力を発信する参加校共同授業の実施</p> <p>④地域指向型科目の共同授業化の推進</p> <p>⑤学生と県内企業経営者との交流会の開催</p> <p>⑥県内産業の魅力などを伝える学生・保護者対象の就職説明会の共同開催</p> <p>⑦地域人材育成をテーマとしたFDの開催</p>		<p>b.</p> <p>①8高等教育機関</p> <p>②2件</p> <p>③年3科目</p> <p>④1科目</p> <p>⑤年9回</p> <p>⑥年2回</p> <p>⑦年3回</p>	<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期インターンシップの拡大についての企画・立案</p> <p>②新しいインターンシップの企画立案</p> <p>③共同事業の授業科目の設定とシラバスの作成</p> <p>④共同事業の授業科目の設定とシラバスの作成</p> <p>⑤交流会の実施と学生・企業関係者へのアンケート調査</p> <p>⑥就職説明会の実施準備</p> <p>⑦FDの開催</p>	<p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学において、実践力養成型インターンシップを実施 受入機関4、修了者19人（新型コロナの影響でオンラインにより実施）同じく、実施日が10日以上インターンシップに先端技術科学教育部 外で6人が参加（コロナ禍による期間短縮等により参加者減）。四国大学において、学生開発プロジェクトを実施（受入機関6、修了者17、参加2大学）。前年度から継続実施となるインターンシップコーディネーター養成講座について、受講対象者を企業等にも拡大して実施した。【4回開講、受講者数19名（大学等：10名、企業等：9名）】【7高等教育機関】</p> <p>②新規に採択されたCOC+R事業において、令和3年度後期から新たに学部1年生を対象とした「地域企業エクスターンシップ」を開講することとした【1件】。</p> <p>③共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」を8月20日、21日、24日に徳島大学で実施（受講者数延べ514名）【1科目】</p> <p>④徳島大学において、新規に採択されたCOC+R事業で設定した教育プログラムについて、各高等教育機関の間での単位互換に向けて学内調整を行い、各高等教育機関との調整に向けて準備を進めている。</p> <p>⑤徳島大学において、「学生×企業のコラボミーティング」を開催（マッチングイベント：令和3年2月20日、企業訪問バスツアー：令和3年3月8日、9日）【3回】。四国大学において、主に1、2年生を対象とするジョブカフェを開催（11月25日）【1回】。</p> <p>⑥本プラットフォーム及び三好市主催（担当：四国大学）による三好市のサテライトオフィス進出企業を中心とする合同説明会をオンラインにて開催（7月29日）【1回】。徳島文理大学において、各種の企業説明会等を実施</p> <p>⑦本プラットフォーム主催（担当：四国大学）による地域人材育成FD・SDフォーラムをweb配信にて実施（10月7日）【1回】FD地域人材育成フェスタは新型コロナの影響により開催なし。</p>			
<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①留学生共同サポートセンターの設置・運営</p> <p>②国内で実施される留学生向けの進学説明会（留学生募集活動）の共同参加</p> <p>③留学生向けの就職セミナーや企業との交流会など、就職支援の共同実施</p>		<p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②年2回</p> <p>③年3回</p>	<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①サポートセンター運営に関する検証</p> <p>②県外説明会への共同参加</p> <p>③就職支援共同実施のための準備</p>	<p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学に留学生サポートセンターを設置済み【2019年設置】。留学生の受入環境の整備：県・徳島工業短大・住宅供給公社が連携。「藍住さくら団地」を活用した外国人留学生の居住確保支援。（令和2年度実績：5室の宿舎に9人入居）。徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会をメール会議にて実施（11月13日）。徳島地域留学生交流推進協議会をメール会議にて実施（3月16日）。</p> <p>②四国大学と徳島工業短期大学共同で「外国人留学生対象大学見学ツアー」を実施（7月10日、10月2日 ※8月7日は中止）【2回】。「留学生共同サポートセンターとくしま」によるオープンキャンパス、進学説明会は新型コロナの影響により開催なし。</p> <p>③県内留学生定着促進事業において、オンラインによる就職支援セミナーを開催した【13回】。</p>			
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		未達成項目数 (0) 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)	※ ² 年度計画の達成度 (3)	
	取組内容	<p>a.) ①、②、③、④、⑤については実施済 なお、⑤に関しては、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」については、大学生のみを対象としたオンライン開講</p> <p>b.) ①、②、③、⑤、⑥、⑦実施済み。なお、⑦に関しては、新型コロナウイルス感染の拡大に伴いFD地域人材育成フェスタの開催を中止</p> <p>c.) ①、②、③実施済み。なお、②に関しては、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い「留学生共同サポートセンターとくしま」によるオープンキャンパス、進学説明会は開催なし</p>	年度計画	<p>a.) ①「キャンパスリポーター事業」継続して実施済、②・③徳島進学ガイド作成、淡路島南部の家庭及び香川県東部地区の高等学校へ配付を継続して実施済、④徳島県教育委員会教育創生課が作成した教育調査報告書をもとに分析、⑤共同模擬授業の企画立案について、WG内で検討</p> <p>b.) ①インターンシップコーディネーター養成講座の受講対象者を拡大して実施、②～④については、COC+R事業において今後検討・実施</p> <p>⑤「学生×企業のコラボミーティング」及びジョブカフェを開催、⑥三好市サテライトオフィス企業合同説明会を実施済、⑦地域人材育成FD・SDフォーラムを実施済</p> <p>c.) ①徳島大学に「留学生共同サポートセンターとくしま」を開設済、②「外国人留学生対象大学見学ツアー」を実施、③県内留学生定着促進事業において実施済</p>			
今後の課題	<p>a.) ①R3年度以降、徳島新聞紙面への掲載はできない見込み ③「徳島進学応援ガイド」についての成果の検証 ④高大接続プランの十分な検討ができていない</p> <p>⑤高校生に提供可能な共同模擬授業の検討</p> <p>b.) ②履修学生の確保 ⑤交流会実施、アンケート調査等の内容について十分な検討等を行っていない ⑥年3回実施すること</p> <p>c.) ①留学生のサポートセンターに関する認知度の向上 ②留学生向け進学説明会の内容等について十分な検討等を行っていない。新型コロナの影響により、今後各種イベントが対面開催できるかは、不透明。③ 留学生向け就職セミナーの共同実施について十分な検討を行っていない。就職先のニーズが異なる複数大学の就職支援を一つの大学で取りまとめることは困難である。それぞれの大学独自の就職支援と本事業をどう組み合わせるかが課題</p>		対課題	<p>a.) ①SNS等の電子媒体の活用を検討 ③「徳島進学応援ガイド」による成果の検証方法の検討 ④高大接続プランの十分な検討ができていない ⑤高校生に提供可能な共同模擬授業の検討</p> <p>b.) ②4月の新入生対象の導入教育における説明会及び前期必修科目での説明・指導の実施 ⑤年間スケジュール、年間目標に応じてWGを開催し協議 ⑥KPI達成に向け各機関が1回実施できるようWG内で検討</p> <p>c.) ①留学生に対する周知方法を検討 ②年間スケジュール、年間目標に応じてWGを開催し協議。「日本留学フェア」のweb開催など、オンライン化の動きがあり、各校の参加に向け、情報共有に努める。③ 年間スケジュール、年間目標に応じてWGを開催し協議。各大学と意見交換等を実施し、具体的な事業内容を検討</p>			
取組に対する根拠資料データ							
<p>a.) 小松島高校校長からの各機関宛て依頼文※¹、令和2年度「キャンパスリポーター事業」掲載一覧、委託事業に係る報告書※²、2020年度第1WG第1回議事録</p> <p>b.) 共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」の実施報告、実践力養成型インターンシップならびに徳島県との連携事業最終報告会実施報告※³、先端技術科学教育部インターンシップ一覧※⁴、COC+R事業概要ポンチ絵、「学生×企業のコラボミーティング」チラシ・アンケート結果、「ジョブカフェ」学生用チラシ※⁵、「三好市サテライトオフィス企業合同説明会」チラシ、「地域人材育成FD・SDフォーラム」案内文書・実施要項</p> <p>c.) 県立総合大学校本部報告※⁶、徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会開催通知、徳島地域留学生交流推進協議会開催通知、就職支援セミナーチラシ</p>					資料保管責任者		
					所属	※ ¹ 四国大学、※ ² 徳島県、※ ³ 徳島大学	
					氏名	※ ¹ 藤野、※ ² 小笠、※ ³ 樋口	
4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月	
<p>○ワーキンググループ (2回)</p> <p>・今後の課題に対する対応策の決定</p> <p>・実施年度の計画内容について年間実施スケジュールを策定、事業実施</p>		<p>○ワーキンググループ (2回)</p> <p>・ワーキンググループの開催</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p>		<p>○ワーキンググループ (2回)</p> <p>・ワーキンググループの開催</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p>		<p>○ワーキンググループ (2回)</p> <p>・ワーキンググループの開催 (1月、2月)</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p> <p>・年度評価検証シート作成、中長期計画委員会に提出</p>	
<p>○中長期計画委員会 (4月)</p> <p>・各WGのからの評価シートを取りまとめ中長期計画委員会の開催</p>		<p>○中長期計画委員会 (8月)</p> <p>・中長期計画委員会の開催</p>		<p>○中長期計画委員会 (10月)</p> <p>・中長期計画委員会の開催</p>		<p>○中長期計画委員会 (3月)</p> <p>年度評価検証シートをもとに実施状況報告書を作成</p>	
<p>○評価・検証部会 (5月)</p> <p>・評価委員の人選</p> <p>・評価検証部会の開催</p>		<p>○運営協議会の開催 (8月)</p>					

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）

2020年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標	地域産業の活性化と地域課題解決への貢献		実施組織	第2ワーキンググループ
取組内容		KPI	2020年度計画内容	2020年度実施内容
a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①光関連産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施 ②ものづくり産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施 ③農林水産業の6次産業化の推進 ④産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の推進 ⑤インダストリー4.0に対応した、AI、IoT、ロボット等の実装の支援		a. ①3件 ②73件 ③57件 ④年11回 ⑤7件	a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①共同研究等を実施する。 ②共同研究等を実施する。 ③戦略に基づく取組内容を検討する。 ④魅力創造発信に関する新しい取り組みを検討する。 ⑤具体の取り組みについて取りまとる。	a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み ①共同事業先と共同研究戦略を策定して共同研究を実施した。(20件実施 内訳:徳島大学18件、阿南工業高等専門学校2件) ②共同事業先と共同研究戦略の策定して共同研究を実施した。(52件実施 内訳:徳島大学26件、徳島文理大学18件、四国大学2件、阿南工業高等専門学校6件) ③各高等教育機関の6次産業化の取組状況をとりまとめて検討した。(3件実施 内訳:徳島大学1件、徳島文理大学1件、四国大学1件) ④阿波藍の魅力を発信するとともに、次年度以降の魅力創造発信の新しい取り組みを検討した。(10件実施 四国大学より阿波藍の魅力発信としてパネル展示や広報物の発行など) ⑤実装支援を行うとともに、次年度以降の具体の取組の実施に向け取りまとめを行った。(2件実施 内訳:徳島大学AI入門講座やロボット講座)
b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①市町村との共同研究・共同事業の推進 ②県との連携事業の推進 ③県民の生活習慣改善や心身の健全を支援する健康改善プログラムの実施 ④大学と県が連携して実施しているボランティアパスポート事業の拡充 ⑤共同での地域の課題解決フィールドワークの実施 ⑥地域課題解決の取組に必要な専門教員の共同人材バンク設置		b. ①15件 ②130件 ③3プログラム ④5高等教育機関 ⑤3テーマ ⑥2020年設置	b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①課題解決のための共同研究・事業を企画する。 ②新たな連携事業を開発する。 ③収集資料の整理・取りまとめを行い、プログラムの方向性を検討する。 ④事業の拡充等を検討し、実施の準備をする。 ⑤取組課題の選定と実施の準備をする。 ⑥人材バンクを設立する。	b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み ①各高等教育機関と市町村との共同研究・共同事業の実施状況のとりまとめを行った。(3高等教育機関 13件実施) ②県と高等教育機関が行う新たな連携事業を9件開発した。(8高等教育機関 138件実施 内新規9件) ③高等教育機関が行った健康改善プログラムについてとりまとめを行った。(2高等教育機関 14講座実施) ④ボランティアパスポートの実施状況についてとりまとめを行った。(3高等教育機関実施 令和3年度より新たに四国大学・四国大学短期大学部で実施することが決まった。) ⑤共同機関校教員に対し地域でのFW拡大に向けた調査を実施。WG内で課題の選定を検討した。(2高等教育機関 3件実施) ⑥徳島県より地域課題解決に必要な共同人材バンクの設置について提案がなされ、検討した。
c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①学生が災害発生時にボランティア活動等を円滑に行える体制の整備 ②自治体が開催する災害関係の会議への参画 ③大学版BCPの作成の推進 ④共同での防災講座の実施		c. ①2019年整備 ②8高等教育機関 ③8高等教育機関 ④3講座	c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①ボランティアパスポート制度を活用した履修プログラムを構築し、被災地支援活動実習を通じ、参加学生を対象としたボランティア支援体制を推進する。 ②自治体の災害会議に参画するとともに加盟組織への周知を図る。 ③支援等を取りまとる(BCP作成に関する)。 ④防災講座内容・方法を検討する。	c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み ①徳島文理大学と県の連携事業により実施し、徳島文理大学・徳島大学・鳴門教育大学の学生が参加した。(3回のべ50名) ②災害関係の会議に徳島大学・鳴門教育大学・徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部・四国大学・四国大学短期大学部・徳島工業短期大学・阿南工業高等専門学校が参画した。(8高等教育機関) ③新型コロナウイルス感染症対策など全ての高等教育機関でBCPを作成した。(8高等教育機関) ④徳島大学および徳島文理大学で行われている防災講座の共同実施について検討した。(3講座)

自己評価	取組施策項目数 (15) 件		未達成項目数 (7) 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)		※ ² 年度計画の達成度 (3)	
	取組内容				年度計画			
	a.)①～⑤に関して、各高等教育機関の実施状況を集約し、個別の取り組み及び全体の達成度について検討した。 b.)①～⑥に関して、各高等教育機関及び県・市町村の実施状況を集約し、個別の取り組み及び全体の達成度について検討した。 c.)①～④に関して、各高等教育機関及び県・市町村の実施状況を集約し、個別の取り組み及び全体の達成度について検討した。				a.)①～②共同事業先と共同研究を実施。③6次産業化取組状況をまとめた。④おおむね計画通り実施。⑤徳島大学が実施した。KPI達成に向けて今後推進。 b.)①それぞれの高等教育機関の共同研究・事業企画によりおおむね計画通り実施。②徳島県の発案によりおおむね計画通り実施。③幼児から一般社会人までを対象としたプログラムを四国大学および徳島文理大学で実施し、KPIを大きく上回った。④徳島大学および徳島文理大学(短大含む)で実施したがコロナ禍により規模縮小。次年度より四国大学(短大含む)で新規実施。⑤徳島県が課題を設定し、課題解決のため各高等教育機関が連携しておおむね計画通り実施。⑥人材バンクの設立・運営方法について徳島県から提案され検討中。 c.)①コロナ禍のため被災地での支援活動はできなかったが、県内で事前復興活動やシミュレーション訓練等を実施。②自治体の災害会議に全ての高等教育機関が参画。③全ての高等教育機関でBCPを作成。④防災に関する公開講座等を実施。			
今後の課題	a.)新型コロナウイルス感染症等により、共同研究等が足踏みする状況にあり研究計画を見直す必要がある。 b.)⑥共同人材バンクの設立・運用方法について検討が必要である。 c.)特になし。				対課題策	a.)新型コロナウイルス感染症による景気低迷により、研究計画を見直しKPIの再設定を検討する。 b.)⑥共同人材バンクの設立・運用方法について、徳島県からの提案について検討する。 c.)特になし。		

取組に対する根拠資料データ

○【集計データ】PF第2WG 2020年度の取組調査について(調査項目・回答様式) a.④四国大学HP⑤徳島大学HP・令和2年度地域産業人材育成講座パンフレット b.①四国大学HP、阿南工業高等専門学校HP②徳島県・高等教育機関連絡会議資料③徳島文理大学HP、四国大学HP④ボランティアパスポート実施状況まとめ⑤フィールドワーク実施報告書⑥徳島県HP c.①学生災害ネットワーク登録者一覧②徳島県調査まとめ③各機関HP等④徳島県地域防災推進員(防災士)養成研修実施要項、徳島文理大学オンライン公開講座チラシ	資料保管責任者 所属 徳島文理大学 地域連携センター 氏名 藤巻 晃
--	--

4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
○ワーキンググループ(2回) ・課題に対する対応策の検討 ・実施年度の計画内容について年間実施スケジュールを策定、事業開始 ○中長期計画委員会(4月) ・各WGのからの評価シートを取りまとめ中長期計画委員会の開催 ○評価・検証部会(5月) ・評価委員の人選 ・評価検証部会の開催	○ワーキンググループ(2回) ・ワーキンググループの開催 ・年間実施スケジュールに基づき事業を実施 ○中長期計画委員会(8月) ・中長期計画委員会の開催 ○運営協議会の開催(8月)	○ワーキンググループ ・ワーキンググループ未開催 ・ワーキンググループ事務局によりコロナ禍における計画実施方法の検討 ・年間実施スケジュールに基づき事業を実施 ○中長期計画委員会(10月) ・中長期計画委員会の開催	○ワーキンググループ(2回) ・ワーキンググループの開催 ・年間実施スケジュールに基づき事業を実施 ・年度評価検証シート作成、中長期計画委員会に提出 ○中長期計画委員会(3月) 年度評価検証シートをもとに実施状況報告書を作成

※¹※² 達成度(4段階): 4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)

2020年度中長期計画達成状況評価シート

基本目標		次代を担う人材の育成と多様な学び直しの機会の創出		実施組織	第3ワーキンググループ	
取組内容			KPI	2020年度計画内容		2020年度実施内容
<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議など共同のFD・SD研修会の開催</p> <p>②プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施</p> <p>③各高等教育機関等が有するサテライトオフィスの共同利用の推進</p> <p>④新たな単位互換や共同授業化の推進</p> <p>⑤施設の共同利用の推進</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①小・中・高校生向けの科学技術人材を養成する体験講座の実施</p> <p>②小・中・高校生向けの学習支援事業（大学の施設、設備を活用した事業）</p> <p>③小・中・高校生を対象としたキャリア形成支援の実施（出前授業の実施等）</p> <p>④共同での地域の課題解決フィールドワークの実施（再掲）</p> <p>⑤長期の課題解決型インターンシップの拡大（再掲）</p> <p>⑥地域人材育成をテーマとしたFDの開催（再掲）</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①県民ニーズに対応した生涯学習に係る新しい公開講座の充実</p> <p>②産業界のニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供</p> <p>③教育訓練給付金制度を活用したリカレントプログラムの充実</p> <p>④リカレント教育情報の一元的発信</p>			<p>a.</p> <p>①3回</p> <p>②推進</p> <p>③推進</p> <p>④3科目</p> <p>⑤推進</p> <p>b.</p> <p>①6講座</p> <p>②30講座</p> <p>③170回</p> <p>④3テーマ</p> <p>⑤8高等教育機関</p> <p>⑥年3回</p> <p>c.</p> <p>①40講座</p> <p>②20プログラム以上</p> <p>③4プログラム</p> <p>④2019HP開設</p>	<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①共同FD・SD研究会の準備</p> <p>②共同IR実施項目の選定</p> <p>③共同利用についての運用方針の決定</p> <p>④新しい単位互換制度等の検討・準備</p> <p>⑤共同利用の在り方の検討と関係規則等の整備</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①講座拡大のための検討</p> <p>②学習支援事業拡大のための検討</p> <p>③キャリア形成のための出前授業の広報活動等の検討</p> <p>④取組む課題の選定と実施の準備</p> <p>⑤長期インターンシップの拡大についての企画・立案</p> <p>⑥FDの開催</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①公開講座に対する県民ニーズ調査の実施</p> <p>②新プログラム作成のための資料収集、まとめ</p> <p>③新しいリカレントプログラム作成のための資料収集・まとめ</p> <p>④「とくしまリカレント教育支援センター（仮称）」を開設し、リカレント教育に関する情報を集約し、徳島県立総合大学校HPにおいて情報を発信</p>	<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①共同FD・SD研修会の実施体制を構築（計5回実施）</p> <p>②令和2年9月18日から10月7日にかけて、県内4高等学校（城西、城南、徳島科学技術、徳島商業）の3年生を対象に進学意識等を行う高校生対象共同IR調査を実施。（次年度継続予定）</p> <p>③WG内で、次年度以降の共同利用についての運用方針を協議した。</p> <p>④徳島大学×鳴門教育大学、徳島大学×四国大学、徳島大学×阿南工業高等専門学校、四国大学×徳島工業短期大学にてそれぞれ単位互換を行っている。また、音楽科目を有する高等教育機関同士で単位互換を実施できないかWG内で検討。共同授業としては、『徳島の魅力、徳島で働く』を8月20日、21日、24日に実施し、徳島大学、徳島文理大学、四国大学、阿南工業高等専門学校が参加。</p> <p>⑤施設の共同利用の在り方についてWG内で検討し、各高等教育機関において調査を実施。（四国大学機器センターを徳島大学教員、四国大学教員が共同で利用）</p> <p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①「とくしま科学技術アカデミー-society5.0体感事業」を実施（徳島大学、徳島文理大学、四国大学、阿南工業高等専門学校）。高校生共同IR調査結果をもとに検討を行い、AI関連の講座を次年度以降実施していくことが決定された。（ほか各高等教育機関で11講座を実施。）</p> <p>②大学の設備としての遠隔配信システムを利用した講座の拡大を検討。（各高等教育機関で9講座を実施）</p> <p>③広報の検討として、各大学の出張講義をいくつかピックアップしたチラシの作成や、高校生IR調査結果から出ているニーズに係る講座を直接高校側へ提案するといった案について検討している。（各高等教育機関で103講座を実施）</p> <p>④共同機関校教員に対し地域でのFW拡大に向けた調査を実施。WG内で課題の選定を検討。（3件実施）</p> <p>⑤拡大に向けてインターンシップコーディネーター養成講座を実施。（実践力養成型インターンシップ4件、学生開発プロジェクト6件実施、徳島大学先端技術科学教育部にて10日以上インターンシップに6名が参加）</p> <p>⑥新たに地域人材育成共同FD・SDフォーラムを企画し、令和2年10月7日に実施。</p> <p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なリカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①徳島県立総合大学校本部及び四国大学の生涯学習講座受講生に対し、県民ニーズアンケート調査を10月～2月にかけて実施。</p> <p>②徳島県中小企業団体中央会より、組合企業へアンケート調査を実施し、企業からの回答から新プログラム作成に向け検討。</p> <p>③四国大学にて専門実践教育訓練給付金及び一般教育訓練給付金を活用している。</p> <p>④徳島県が開設している「とくしまリカレント教育支援センター」にて、リカレント情報を発信した。</p>	
自己評価	取組施策項目数 (15) 件		未達成項目数 (0) 件		※ ¹ 取組内容の達成度 (3)	※ ² 年度計画の達成度 (3)
	取組内容	<p>a.) ①～⑤については、実施済み。</p> <p>b.) ①～⑥については、実施済み。</p> <p>c.) ①～④については、実施済み。</p>	年度計画	<p>a.) ①共同FD・SDを5回実施済み。②高校生IR調査を実施済み。次年度以降も継続して取り組むことが決定済み。③サテライトオフィスの共同利用について、検討を進めている。④音楽科目を開設している機関同士での単位互換を模索中。⑤施設の共同利用について、検討を進めている。</p> <p>b.) ①高校生IR調査結果に基づき、大テーマ「～についてのAI」を決定し、次年度以降の実施に向け検討中。②小中高が遠隔で受講できる環境を、PFが整える案を検討中。③広報活動として、チラシの作成や高校側へ直接依頼する案などが出されている。④地域課題解決に資するテーマ等について四国大学教員へアンケート調査を実施し、結果から取組む課題の選定を検討している。⑤四国大学開発プロジェクトを長期インターンシップに含めることが決定された。⑥地域人材育成FD・SDフォーラムを実施。</p> <p>c.) ①生涯講座を受講している県民に対し、講座拡大のためのアンケートを実施。②産業界へアンケートを実施し、産業界のニーズの把握を行った。③産業界へアンケートを実施しリカレントプログラム開発に向け情報収集を行った。④「とくしまリカレント教育センター」にてリカレント情報を一元発信している。</p>		
今後の課題	<p>a.) ③、⑤サテライトオフィス、施設の共同利用について、利用条件等を検討・規則等を整備すること</p> <p>b.) ①、②、③小中高のニーズを捉えたプログラムの開発と回数の拡大</p> <p>c.) ①、②ニーズに対応したプログラムの開発と回数の拡大</p>		対応策	<p>a.) ③、⑤各機関との協議を密に行い、互いにメリットが得られる共同利用条件などを検討していく。</p> <p>b.) ①、②、③IR調査などを通じて新しいプログラムを開発し、よりニーズを捉えたプログラムの実施と回数の増加に繋げる。</p> <p>c.) ①、②試行的な取組を行い、反応等からニーズの発見と新プログラムの開発を繰り返し、2023年度に向けて回数拡大を図る。</p>		
取組に対する根拠資料データ						
<p>・2020年度取組調査結果まとめ</p> <p>a.)T-SPOD会議議事要旨、SPOD講師派遣事業による共同FD・SDの実施要項（2件）、9/4共同FD・SD実施要項、地域人材育成FD・SDフォーラム実施要項、県内高校生対象共同IR調査結果、単位互換実施状況のまとめ、共同授業シラバス、機器センター使用簿</p> <p>b.)society5.0体感事業チラシ、県内高校生対象共同IR調査結果、科学技術人材を養成する体験講座の実施状況のまとめ、大学の施設・設備を活用した学習支援事業の実施状況のまとめ、キャリア形成支援事業の実施状況のまとめ、大学・地域連携課題解決フィールドワーク事業実施要項、コーディネーター養成講座開催案内、実践力養成型インターンシップチラシ、学生開発プロジェクトチラシ、</p> <p>c.)県民ニーズ調査結果、産業界アンケート結果、四国大学教育訓練給付金制度について（HP）、とくしまリカレント教育支援センターHP</p>					資料保管責任者	
					所属 四国大学 総務・企画部 社会連携推進課	
					氏名 藤野 江美	
4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月
<p>○ワーキンググループ（2回）</p> <p>・今後の課題に対する対応策の決定</p> <p>・実施年度の計画内容について年間実施スケジュールを策定、事業実施</p> <p>○中長期計画委員会（4月）</p> <p>・各WGのからの評価シートを取りまとめ中長期計画委員会の開催</p> <p>○評価・検証部会（5月）</p> <p>・評価委員の人选</p> <p>・評価検証部会の開催</p>		<p>○ワーキンググループ（2回）</p> <p>・ワーキンググループの開催</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p> <p>○中長期計画委員会（8月）</p> <p>・中長期計画委員会の開催</p> <p>○運営協議会の開催（8月）</p>		<p>○ワーキンググループ（2回）</p> <p>・ワーキンググループの開催</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p> <p>○中長期計画委員会（10月）</p> <p>・中長期計画委員会の開催</p>		<p>○ワーキンググループ（2回）</p> <p>・ワーキンググループの開催（1月、2月）</p> <p>・年間実施スケジュールに基づき事業を実施</p> <p>・年度評価検証シート作成、中長期計画委員会に提出</p> <p>○中長期計画委員会（3月）</p> <p>年度評価検証シートをもとに実施状況報告書を作成</p>

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）